

医療とは医学の社会的適用であり、医療者は、対象者や家族のニーズに基づいた共有できる具体的な目標を設定して、各専門職と協力しながら最大限の支援を実施していく。

このような理念を示された時にこれを否定する医療者はいないであろうが、実際の医療・福祉現場で確実に実施されているかと問われれば、多くの現実的な課題に直面している場合も少なくないであろう。リハビリテーションは、対象者を全人的にとらえて生活機能を機軸とした介入についてチーム医療をととして展開する代表的な領域である。

急性期医療においては、救命措置が優先されるが、各専門職はそれぞれの立場で、今、何ができるかを十分に考える必要がある。そして優先順位の高い治療や処置を妨げない範囲で、しかし、対象者の将来のために現在できる最大限の介入を実践する必要がある。そのためには、対象者をよく知ることはもちろんであるが、他の医療者が行う介入の目的と可能性およびその効果を十分に理解しておく必要がある。“効果”と一言にいても時間的・空間的な要素があり、ことに複数の介入では個々の介入を足し合わせた以上の相乗効果を示したり、逆に効果が相殺されてしまう場合も稀ではない。急性期の理学療法士に求められる素養はいくつかあるが、全身状態にかかわる医学情報の解釈ができることが求められ、とくに栄養状態の評価と薬物療法についての理解が期待される。

たとえば、重度な運動麻痺を有する対象者に、痙性麻痺を利用してなんとか支持性を確保しようと運動療法を進めている一方で、筋トーンが高いために抗痙縮剤を投与しているのでは、たとえ双方が最善を尽くしていたと思ってもよい結果は得られないであろう。コミュニケーションとは、相手をよく知りたいと思う気持ちが大切で、そのことが自分の仕事をやりやすくすることにつながることも多い。

教育現場においては、実践能力の向上のための教育課程（カリキュラム）や教授方法が模索されている。ここでいう実践能力とは単に技術的に優れているという意味にとどまらず、正確な知識に裏打ちされた論理的な思考過程に基づく具体的なスキルを身につけることである。医療系教育においては、自己決定・主導型協同学習が推奨され、客観的臨床能力試験（オスキー）の実施や実践能力の学習を支援する教育環境の改善に力が注がれている。教員や臨床実習指導者にとっての対象者は学生であり、対象者中心の医療が当然のように、学習者中心の教育が推進されなければならない。これらが、やがて実践現場で活躍する医療者が、対象者中心の介入を推進し、他の医療職にも高い関心を払える基盤になると思っている。

あるテレビ番組で老舗旅館に嫁いだ若女将が、「この仕事には素質や適性が必要ならば、私にその適性があるのだろうか？努力をすれば私にもできるようになるのならどのような努力も惜しまないが、努力ではどうにもならないものがあるのなら私がこの道を選んでもよいものか考えこんでしまう」と話していた。難しい問題であるが、私自身は医療者、教育者として、そのような気持ちをもって取り組むことが最も重要なことであり、そのときに教育や支援が希望を実現できるための手段でありたいと願っている。

いろいろな意味で一層“理学療法の可能性”を模索していきたい。（内山 靖）

理学療法ジャーナル

（第39巻 第10号）

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2005年10月15日発行（毎月1回15日発行） ☎ 113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

定価 1,785 円（本体 1,700 円＋税 5%）

（担当：松田・山崎）

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

〔2005 年年ぎめ予約購読料 20,880 円〕
（配送料弊社負担）

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

振替口座 00170-9-96693 番

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2005, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有しています。

・ JICLS <（株）日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に（株）日本著作出版権管理システム（電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199）の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
五 味 重 春
福 屋 靖 子
横 山 巖

（五十音順、以下同じ）

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 橋 ゆかり
大 峯 三 郎
岡 西 哲 哉
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
木 山 喬 博
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
仲 貴 子
中 村 春 基
橋 元 隆
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
諸 橋 勇